様式３(2020.06改)

作成日　令和　３年　１１月　３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101481
事業所名	グループホーム岡崎若松の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	自治会活動に誘ってもらえ、地域のお祭りでは子どもの山車も寄ってくれた日から早2年、コロナ終息が見えにくい中、回覧板を廻すことと朝夕の全員散歩は継続できています。散歩に拒否のある人にも「朝か夕、どちらか1回は」とうまく声がけをおこない、顔なじみとなっているご近所さんとは挨拶も交わせています。介護計画書に「活躍する機会を多くする」と掲げた人が回覧板の係で、本人も進んで「いきましょうか」と職員に声をかけてきます。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は２ヶ月に１回実施しているものの、昨年の３月から外部メンバーは集まらず、利用者と職員での開催としています。地域包括支援センター（→岡崎市）、（市の介護保険課所属の）介護相談員、町内会長、民生委員には議事録を届けており、質問や要望を求める一筆箋も同封しています。ただ、現在のところ意見は挙がっていないため、今後は質問やお問い合わせ文も挿入する等の工夫に取組む予定です。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	入居料が足りず法人が減免する利用者を含み、6名の生活保護受給者がいます。市役所からの訪問面談は休止していますが、社会福祉協議会はおこづかいの精算に毎月来訪しています(コロナ禍を鑑み、駐車場のベンチに於いて)。グループホーム部会は休止ですが、介護情報はeメールで行政から届き、岡崎市介護サービス事業者研修会はズーム開催となっています。他にも藤田医科大学岡崎医療センターはこまめに研修案内を送ってくださいます。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	こまめな報連相に定評があり、何かあっても詳らかに家族に伝えており、家族も利用者も管理者はじめ職員に信頼を寄せてくださいます。家族には硝子越しや駐車場のベンチ(検温、フェイスシールド、対面と真隣はNG)の面会の場を提供していますが、家族側が「何かあってはいけない」と自粛してくださっていて、寂しい思いをさせてしまったため、今後は少しずつ解禁していきたい考えです(利用者、職員のワクチン摂取済)。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									